

序

明治維新の事成るや、諸般の制度未だ整はざるに、早くも歐米文化攝取の要に迫られ、我が人材の彼地に渡り、或は視察し或は留學するもの頗る多く、以て我が國文化の向上に貢獻するところ甚だ大なるものありしが、就中教育、殖産興業、治水、土木、鐵道、橋梁等、直ちに實施するを必要とするものに於いては、各方面に互り歐米より工師工手を招聘して、其の指導を受けたるもの亦夥しきものありき。願ふに當時來朝せる之等の工師工手は、何れも皆彼の地に於いても優秀なるものなりしが如し。之れ實に彼等の本國に於いても、我が國に派遣するものに就きては、誠意を以て學術人物共に優秀なるを選抜したるに依らずんばならず、即ち之れを事實に徴するも、其の成績の極めて佳良なるのみならず、彼等より其の學問技術を傳習したる邦人は、皆我が國に於ける優秀なる先覺者として、明治文化の大成に貢獻せるを以てしても知るべきなり、此の如きは、彼の國々に對して吾人の常に深く感謝するところなると同時に、後進國に對する吾等の義務も亦斯くの如くなるべきを痛感するものなり。

然るに此等の功勞ある多數外人の事蹟に至つては、之を調査せるもの未だ多きを聞かざ

るのみならず、其の功績の湮滅に歸するものまた漸く多からんとす。茲に於いて我が土木學會は之を遺憾とし、昭和十三年六月、土木關係の外人功績調査を企てたり、其の趣意書に曰く

招聘外人遺功調査に關する趣意書

我が國現時に於ける文化の隆昌を來したるは、泰西文化の長を取り短を補ひ克く是を同化せしめし不斷の努力の賜なりと雖も、我が國を指導し泰西文物の移入を援助せし外人の功は見逃す可らざる事實にして、之が遺功を調査し其の資料を蒐集して後世に傳へ、永へに感謝の意を捧ぐるは我が國民道徳の本義に副ふのみならず、國際親善に裨益する處大なるものあるべし、而も他日我が文明史編纂上貴重なる資料たるを失はず。

爾來我が國に功績ある外人の小傳の刊行或は記念銅像等の建設せられたるものなきにしも非ざれども、其の範圍狭少にして顯著なる功勞者を網羅するに至らず、此の儘にして推移せむか歲月と共に文獻は散逸し、往時を知れる故舊は物故し其の功績を傳ふるに由なきに至らむ、此處に我が土木學會は委員會を設け、明治年間に我が國に招聘せられたる土木工學に關係ある外人の遺功を調査せむとす。云々

依つて會内に委員會を設け、調査を進むること約二年、漸く成れるもの即ちこの一編なり、然れども之が調査に當りては、資料の缺乏著しく、且つは外人のこととして手懸り至つ

て少く、今日にして之を看れば、人物の數に於いて、又その事蹟に於いて、企圖を満足せしむるに足らず、遺憾尠からざるものありと雖も、完璧は之を他日に期し、敢て之を公刊し、以て本會の意の在る所を闡明すると共に、聊か以て彼等外人の我が國に盡せる功績に對し感謝の意を表せんと欲す。

本書は外人の事蹟を述ぶるを主旨とすれども、之に伴ひ、其記事中に於て、明治初年に於ける我が邦の土木事業の狀況と、各種工作物の創始年月を闡明ならしむるに努めたり。

昭和十六年九月

社團法人 土木學會

土木學會外人功績調査委員會委員

(アイウエオ順)

委員長 那波光雄

副委員長 眞田秀吉

委員

安藝 杏一 赤木 正雄 阿曾沼 均 (故)伊藤長右衛門

榎木 寛之 久保田敬一 辰馬 鎌藏 中川 吉造

丹羽 鋤彦 福田 次吉 (故)眞島健三郎 名井 九介

茂庭忠次郎 山内 靜夫 山崎 匡輔

幹事

江澤 甚一

明治 本邦土木と外人

目次

第一編 學校の部

明治初期の學校と外人 三

一、東京大學 三

二、工部大學校 九

三、札幌農學校 四

外人略歴

- 1、ホーレス・ケブロン (米國人) 三
- 2、トーマス・アンチセル (米國人) 七
- 3、デュームス・アール・ワズソン (米國人) 元
- 4、エドウキン・ダン (米國人) 三
- 5、ウイリアム・ホイラー (米國人) 三
- 6、セシル・エッチ・ペューボデイ (米國人) 三

目次

- 7、エー・ダブリュー・アンタンク (米國人) 七
- 8、ウインフィールド・エス・チャプリン (米國人) 七
- 9、デュームス・アルフレッド・ニューキング (英國人) 元
- 10、ジョン・アレキサンダー・ロウ・ワデル (加奈陀人) 四

(加奈陀人) 四

- 11、ヘンリー・ダイエル (英國人) 四
- 12、エドワード・ダイバース (英國人) 三
- 13、ダブリュー・イー・エルトン (英國人) 三
- 14、ジョン・ミルン (英國人) 三
- 15、ジョン・ベリー (英國人) 三
- 16、トーマス・アレキサンダー (英國人) 四
- 17、チャレス・デッケンソン・ウエスト (英國人) 六
- 18、ウキリアム・ケー・バルトン (英國人) 六
- 19、ドクトル・ケー・ハーフェレト (獨逸人) 三

五

目次

20、アメリカ・ゴット・ホーフマン(埃太利人)……………五
 21、ウイリアム・エッチ・パー(米國人)……………七

第二編 鐵道の部

本邦鐵道初期と外人……………一

外人略歴

1、エドモンド・モレル(英國人)……………六
 2、ジョン・ダイアック(英國人)……………七
 ロジルス(英國人)……………七
 グレー(英國人)……………七
 ノルデンステット(英國人)……………七
 ブランドル(英國人)……………七
 デー(英國人)……………七
 3、ジョン・エン格蘭ド(英國人)……………七
 4、チャールス・セツパルト(英國人)……………七
 5、ウイリアム・ゴールウエー(英國人)……………七
 6、フレデリック・コリール・グレスチー(英國人)……………七
 7、オーソル・スタンホーフ・オールドリッチ(英國人)……………七

六

8、セオドル・シャン(英國人)……………九
 9、ダブリユ・カーギル(英國人)……………九
 10、アール・ヴィカース・ポイル(英國人)……………九
 キンドル(英國人)……………九
 エス・スベロー(葡萄牙人)……………九
 11、ライマル・ジョンズ(英國人)……………九
 12、デー・アール・セルヴィントン(英國人)……………九
 13、ジョン・マクドナルド(英國人)……………九
 14、グレゴリー・ホッサム(英國人)……………九
 ジョン・チャンブルス(英國人)……………九
 15、ウォルトル・フィンチ・ベイチ(英國人)……………九
 16、ジョルジ・ダラム(英國人)……………九
 17、ウォルトル・マカルセー、スミス(英國人)……………九
 18、デー・パーセル(英國人)……………九
 19、フランシス・ヘンリー・トレヴィシック(英國人)……………九
 リチャード・フランシス・トレヴィシック(英國人)……………九
 グレー・マクドナルド(英國人)……………九
 20、フレデリック・ライト(英國人)……………九

21、ジョセフ・ユー・クロフォールド(米國人)……………二
 シ・デー・ブロン(米國人)……………二
 エッチ・シー・ホルウエト(米國人)……………二
 ジョン・レノルツ(米國人)……………二
 デー・チストリ克蘭ド(米國人)……………二
 ジョン・ホウイラン(米國人)……………二
 ステッフエン・デー・ウイン(米國人)……………二
 22、チャールス・アセトン・ダブリュー・パワネル(英國人)……………二

23、ヘルマン・ルムショッテル(獨逸人)……………二
 ルイ・ガランド(獨逸人)……………二
 カール・ジウエシング(獨逸人)……………二
 24、フランツ・バルツェル(獨逸人)……………二
 25、ルドルフ・ブリスケ(獨逸人)……………二
 26、ロバート・リッチウエー(米國人)……………二

第三編 河川、港灣、燈臺の部

一、明治初期の河川、港灣、燈臺と

目次

外人……………二

二、土木寮備蘭人工師の事及び土木局明治初期の狀況……………二

三、内務省土木局明治初期の狀況……………二

四、明治初年の内務省土木局長……………二

外人略歴

ルノー(佛國人)……………二
 1、フランソア・レオン・ヴェルニー(佛國人)……………二
 フロラン(佛國人)……………二
 チボジー(佛國人)……………二
 ギール(英國人)……………二
 2、アール・ヘンリー・プラントン(英國人)……………二
 テー(英國人)……………二
 デー・ステブソン(英國人)……………二
 マクヒン(英國人)……………二
 ブランドル(英國人)……………二

パリイ(英國人)……………一五
 ジェームス・マクリッチ(英國人)……………一五
 3、ファン・ドールン(和蘭人)……………一五
 4、イ・ア・リンドウ(和蘭人)……………一七
 5、ゲ・ア・エッセル(和蘭人)……………一七
 6、ヨハネス・デレーケ(和蘭人)……………一七
 7、ア・パ・テ・カ・チッセン(和蘭人)……………一七
 8、バース・ウエストル・ウイル(和蘭人)……………一七
 9、イ・ア・カリス(和蘭人)……………一七
 10、デー・アルンスト(和蘭人)……………一七
 11、ファン・マイトレクト(和蘭人)……………一七
 12、ハ・エル・ルーエンホルスト・ムルデル(和蘭人)……………一七
 13、ヨハン・ゴタルト・ファンゲンド(和蘭人)……………一七
 14、シー・エス・メーク(英國人)……………一七

第四編 道路、橋梁、上下水道の部

- 一、明治初期の道路、橋梁……………一七
 (都市計畫及び潜函を含む)

5、サミユル・ヒル(米國人)……………一七
 6、チャールズ・エー・ピアド(米國人)……………一七
 7、エー・エッチ・ヒューズ(米國人)……………一七
 8、エル・アール・クラフト(米國人)……………一七
 9、エッチ・エングランダー(米國人)……………一七

第五編 雑の部

- 一、明治初期の測量……………一七
 二、明治初期の鑛山と軌道……………一七
 三、人力車……………一七

外人略歴

マクウェン(英國人)……………一七
 エドムント・ナウマン(獨逸人)……………一七
 軍艦シルビア(英國)……………一七
 1、ウキリアム・ビー・ブレイキ(米國人)……………一七
 2、アール・ボンベリー(米國人)……………一七
 3、エラスムス・エッチ・エム・ガール(英國人)……………一七

二、明治初期の上下水道……………一〇〇

外人略歴

ポールス(米國人)……………一〇〇
 シューメカー(米國人)……………一〇〇
 レプコ(米國人)……………一〇〇
 スミス(米國人)……………一〇〇
 パーレンタイン(米國人)……………一〇〇
 デンキンズ(米國人)……………一〇〇
 1、エー・デー・ワルフィールド(米國人)……………一〇〇
 2、ゼームス・アール・クラーク(米國人)……………一〇〇
 3、エヌ・ダブリュー・ホルト(米國人)……………一〇〇
 4、ヘンリー・スベンサー・パーマー(英國人)……………一〇〇
 ハロルド・デー・ラスロフ(米國人)……………一〇〇
 フランク・ウオルキン・シヨウ(英國人)……………一〇〇
 エフ・マクナップ(英國人)……………一〇〇
 ジョンス(英國人)……………一〇〇
 バクボルド(英國人)……………一〇〇
 ジョソン(英國人)……………一〇〇

ゼームス・スコット(英國人)……………一〇〇
 4、ベンチャミン・スミス・ライマン(米國人)……………一〇〇
 (ヘンリー・エス・ムンロー(米國人)……………一〇〇
 5、ホルネ・ゴウジャウ(米國人)……………一〇〇
 ジョセフ・エッチ・ダウス(米國人)……………一〇〇
 エドワード・バレー(英國人)……………一〇〇
 6、モルレー・エス・デー(米國人)……………一〇〇
 7、デヨナタン・ゴープル(米國人)……………一〇〇

附録

- 一、各人功績摘要……………一〇〇
 二、工部大學校昔噺……………一〇〇
 1、明治初年の工業と工部大學校のことども
 2、學生生活の面影
 三、大學生の制服制帽徽章の由來……………一〇〇
 四、内務省雇備工師の報告書名表……………一〇〇